

久間がゆく

No.10

竹下産業株式会社

創業50年のり生産のさらなる技術開発を
目指すは顧客満足度業界ナンバーワン

皆さん、こんにちは。企業支援相談員の久間です。10回目の節目に紹介する企業は、竹下産業株式会社です。

この会社は、海から収穫したのりを板のりに加工する全自動乾海苔製造機の製造販売を行っています。本町に本社工場があり、のり養殖が盛んな佐賀市や香川県高松市、兵庫県明石市に営業所などを構えます。

今はちょうど有明海でのりの収穫が行われている時期ですが、そこで採れたのりは、「すく」「脱水」「乾燥」「はぎ

取り」という加工工程を経て、皆さんの食卓に上る板のりになるのです。竹下政敏社長は「全自動乾海苔製造機から出てくるのりは、1枚の重さがたった3グラムほど。のりは採れる時期によって柔らかさが違うので、ばらつきがなく均一に生産できるように工夫しています」と話します。この会社では、最大で長さ約19m、重さ約30トンもの機械を製造。1時間当たり1万枚以上の板のりを生産することができます。

今では国内ののり製造機を造っている企業の中で、市場シェア5割を誇るトップメーカーとなっています。

顧客からは機械が扱いやすいと評価を受けているといい、社長は「わが社は創業してちょうど50年。のり製造機の技術を応用して、事業の拡大を検討中です。そして、のり生産者の生産性向上を図るため、さらなる技術開発に取り組んでいきます」と抱負を語りました。

久間のひとこと

柳川市の基幹産業のひとつであるのり産業を支える企業であり、良質なのりの提供のために、のり養殖業者の皆さんの要望に応えながら、日夜努力されていることを、取材を通じて感じる事ができました。

【問】市商工振興課企業誘致・ベンチャー支援係 ☎77・8762

【事業者情報】

- 本社所在地=本町 68・4 ☎73・7111
- 資本金= 8000 万円
- 代表者= 竹下政敏
- 従業員= 65 人



【写真左上】本社工場【写真左下】高さ約2.7m、長さ約19mにもなる最大ののり製造機【写真中上】のりを乾燥させるすのこのラインを製作【写真右上】自社で部品を生産【写真右下】のり製造機をつり上げ従業員が下からチェック